

この会報は、共同募金の配分を受けて発行されています。

令和7年3月末日 発行

# やまびこ No.276

発行 公益社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会  
 〒330-0062 埼玉県浦和区仲町2丁目14-6 ハウス第五仲町101  
 TEL 048-833-0444 FAX 048-833-0400  
 E-mail:saitama@teotunagu.jp  
 ホームページ http://www.teotunagu.jp/

定価50円 (購読料は会費に含む)

理事長 高野 淑恵



## 第59回 埼玉県手をつなぐ育成会県大会

こころのバリアをなくして、多様性のある社会へ！  
 ～共生社会へ、動こう、語ろう、今から、ここから～

令和7年3月2日(日) 秩父宮記念会館

秩父宮記念会館にて、第59回県大会が開催されました。当日は、県内各地から親123名、本人52名、一般参加者29名、総勢204名の参加をいただきました！

秩父宮記念会館にて、第59回県大会が開催されました。当日は、県内各地から親123名、本人52名、一般参加者29名、総勢204名の参加をいただきました！

平素よりご支援ご協力いただきありがとうございます。皆さまに心より御礼申し上げます。

去る三月二日、秩父にて第五九回埼玉県手をつなぐ育成会県大会(秩父大会)が開催され、無事に終了いたしました。

秩父をはじめ北部ブロックの会員のみならず、当日のために準備を重ねて頂き、本当にご苦勞様でした。心より御礼申し上げます。

東西南北のブロックの中でも、北部は会員の高齢化による減少が著しく、どうしても秩父育成会に負担が偏ってしまいます。そのような状況の中でもみなさまにご尽力いただきましたことに頭が下がる思いです。

育成会会員の減少については、全国的に悩ましい問題になっています。世の中は少しずつ「個人主義」の時代になっていきます。面倒なことは人任せでいい、という人が増えています。それでも、そういう方たちが何の不満もないかと言えば、そういふことはなく、不満は人一倍抱えています。そのせいで、他者に対する言動が非常に攻撃的であったり

### 県大会を終えて

理事長 高野 淑恵

英国の詩人ワーズワースの詩の一節です。この詩が心の中に在れば、大概のことはOKです。

あの草原の輝きや  
 草花の栄光が還らなくても  
 嘆くのはよそう  
 残されたものの中に  
 力を見いだすのだ

何でも話せる雰囲気、会員のみなさんのお話に耳を傾け、さまざまなお話を聞いてもらいたいと思っています。

私にできることはそれだけかもしれませんが、私は独りで県内の会を回ろうと思っています。

その方の会にお邪魔して、茶話会で良いので会員のみなさんにお逢いしてこようと思えます。

「県大会を毎年開催する必要はない」と言う意見も段々多くなっていますが、県大会でやっと逢える人もいます。今年の大会でも逢いたかった人に逢うことができ、とても嬉しかったです。今度、その方の会にお邪魔して、茶話会で良いので会員のみなさんにお逢いしてこようと思えます。

する場面が増えてくるよう、一人「人情」などと言う言葉は死語になってしまいました。残念ですね。

そんな逆風の中で、自分には何ができるのだろうか、毎日のように考えてしまいます。いろいろなことを思い返してみると、重度の知的障害を持つ子どもの親として、同じ立場や思いを共有できることを信じて育成会に入りまし。ですから今でも、いちばん嬉しいことは、人との出逢いです。「県大会を毎年開催する必要はない」と言う意見も段々多くなっていますが、県大会でやっと逢える人もいます。今年の大会でも逢いたかった人に逢うことができ、とても嬉しかったです。今度、その方の会にお邪魔して、茶話会で良いので会員のみなさんにお逢いしてこようと思えます。

## 本人のつどい レクリエーション『カーレット』

埼玉県カーレット協会の指導者のもと参加者50名・指導者8名が参加しました。A、B、C、Dの4チームで対戦。大いに盛り上がりました。2ゲームとも秩父手をつなぐ育成会のチームが優勝しました。



### 手をつなぐがん保険

なぜ障がいのある息子はがん保険に加入できないのでしょうか?

特長1 代理手続き 告知告知が可能  
 特長2 告知対象 疾患の緩和  
 特長3 “親なきあと”に 備える補償

株式会社ジェイアイシー  
 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11  
 TEL 03-580-5800 / FAX 03-580-5801  
 MAIL gai@jai-cy.com

### 未来あんしんサポート

「知的障がい」「自閉症」「発達障がい」「ダウン症」等の障がいのあるお子さまのために「親なきあと」をサポートするご提案です

「生命保険」と「信託」が「親御さまの想い」を 確実に未来へのこします

お問合せや資料のご請求はこちらへ  
 未来あんしんサポートに関するお問い合わせ  
 ジェイアイシー生命保険信託相談ダイヤル  
 0120-580-503 通話料 無料  
 受付時間:月～金(祝日・年末年始を除く)9:00～17:00

二〇二五年三月末日発行(二七六号)



表彰状受賞者(本人)



体験発表



アピール朗読



実行委員長  
本橋 貢

# 県大会を終えて

第59回埼玉県手をつなぐ育成会県大会に県内各地より、秩父にお越しいただき、ありがとうございます

ました。平成30年7月に秩父で開催された、第55回県大会より7年ぶりとなりました。この間コロナ禍における様々な制限が生じました。また、ロシアにおけるウクライナ侵攻は未だに続いております。中東情勢では、ガザ地区の状況においても一時停戦はしたものの心配な状況が続きます。世界の人は、対立・分断・暴力から、共生社会へ多様性を重視する対話による戦争のない、平和な世界を願っています。

世界の指導者は知恵を絞って戦争のない平和な世界を構築する責任があります。

今回は記念式典に続き「心の健康セミナー」NPOきぼうののじ代表「中村博康」氏にご講演をいただきました。

午後には、特別講演として、「中央情勢報告」「知的障害者への合理的配慮」について、一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会・常務理事兼事務局「又村あおい」氏にご講演をいただきました。

レクリエーション、本人のついでには、埼玉県カーレット協会会長「染野政夫」氏、他カーレット協会の皆様のご指導の下、多くの

皆さんが楽しい時間を過ごされました。ありがとうございました。

県大会テーマは

「心のバリアをなくして、多様性のある社会へ」

「共生社会へ、動こう語ろう、今から、ここから」

手をつなぐ育成会会員は「心と手をつなぐ」力を合わせて、目的・目標・課題等へ挑戦することが、障がい児・者の生活環境改善へとつながります。「一人一人が心を動かし、頭を動かし、体を動かし」動き、語り、今から、ここから、始めましょう。

最後に、ご来賓、顧問、参与、ご後援、協賛をいただきました、関係各位の皆様にご挨拶と御礼申し上げます。さらに、県大会の成功にご尽力いただきました。育成会三役、事務局、北部ブロック、秩父手をつなぐ育成会役員の皆様にご挨拶と御礼申し上げます。皆さま健康第一でお過ごしください。今後も育成会活動の充実・発展にご協力いただくようお願い申し上げます。お礼の挨拶とさせていただきます。

「心の健康セミナー」  
「この心のバリアをなくすために」「この心の体温計」  
「これって認知症!?!」

講師 中村 博康 氏  
NPO法人きぼうののじ代表

講演会に参加して  
上尾市手をつなぐ親の会 菊池 波江

「うつ病」の  
予防と早期発見について

人はなぜ「うつ病」になるの!

最近では少なくなっている「怠け者」「心の弱い人」がなる病気と思われる人が頑張っている人、心の強い人が人間関係、周りの環境、性格によってストレスを感じるところやからだの不調を訴え、憂鬱で、何に対しても興味を持てない症状が2週間以上続くとうつ病と診断される。眠れない、食欲や体重が落ちてくるなどのからだの不調を訴える症状についてはどううつ病と結びつきにくく自立神経失調症と診断されてしまうということがあります。がまれにうつ病が隠れている場合があるそうです。

そして、口数が少なくなったりイライラしているなどのサインを家族だったり周りの人が気付いて、話をきいてあげるだけで心が軽くなれるとよいということです。

また、メンタルが弱っている人への余計なひと言「がんばろう」やさしいひと言「一緒にやろう」や「メンタルが安定する知識10選」しっかりと取り入れていきたいとおもいます。

「認知症」の予防と  
早期発見について

うつ病と認知症の類似点は

- \* 活気がなく引きこもりがち
- \* 物事に興味を示さない
- \* 物忘れ(判断が鈍る)

そして物忘れには加齢によるものと認知症によるものがありその違いは「加齢によるものは」体験したこととを一部忘れてしま、「認知症によるものは」朝ご飯を食べたことなどすべて忘れてしまうということです。

認知症予防10か条には食事・運動を心掛け、深酒・タバコをやめ、生活習慣病の予防を早期発見することは大切なことと思えました。

うつ病と認知症予防についてわかりやすいお話を聞き、人と人とのつながりを大切に、楽観主義で笑顔で過ごそうと思えます。

1. 法改正・報酬改定の動向

講師 又村 あおい 氏  
(一社)  
全国手をつなぐ育成会常務理事  
兼事務局長

講演 「中央情勢報告」  
「知的障害者への合理的配慮とは」

意思決定支援の重視↓担当者会議や個別支援会議で障害者本人の参加が原則

(2) 強度行動障害支援・入所施設のある方 広域の人材・中核的人材を養成↓地域の各事業所における支援力の向上

(3) 成年後見制度の見直し 金銭面の負担大↓必要な時だけ使うスポット利用も検討中

(4) 療育手帳の判定基準の見直し 研究

地域ごとに判定基準が違う↓国際的な知的障害の定義に適合した判定基準を開発中

(5) 旧優生保護法の違憲判決 被害者の高齢化↓一刻も早い謝罪と賠償を要望

2. 全育連の動き

(1) 能登半島地震・豪雨災害への対応  
山形や秋田も含めて今後も支援継続

(2) 本人参画研究事業の展開  
参画のための合理的配慮をマニュアル化

(3) 団体賛助会員の増強  
放課後デイ等に勧誘↓「手をつなぐ」進呈・知的障害に特化した研修動画を視聴可能にした保険や冊子頒布の拡大

(4) 所得補償・がん・傷害保険に加えて介護一時金保険も開始

いつもながらの軽妙なトークであっという間の2時間でした。11月の東京鎌田での全国大会も楽しみです!



表彰状受賞者



感謝状受賞者



ご来賓